

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1186】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 博物館資料保存事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	文化課
	項	05	社会教育費		
	目	04	博物館費	連絡先	0594-21-3171
	細目	001	ブランド推進事業費		

事業の概要 (事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
博物館収蔵資料	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○桑名市博物館収蔵資料の保存を行う。 ・博物館法第2条に則り各資料の状態を適切に見極め、保存管理を行う。 ・破損・劣化が確認された際には適切に修理につとめる。 ・劣化、虫菌害の発生を防ぐため、収蔵庫の温度・湿度の調整を実施する。 ・損傷を防ぐため、資料の取扱には、文化財の取扱に習熟した学芸員自ら、もしくは学芸員の監督の下に実施する。	資料の保存は研修を受け実務経験を積み、作品の取扱いに習熟した学芸員が長期的視野に基づき適切な対応を心がけ初めて後世に残すことが可能となるため。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
適切な環境で保存・展示を実施する。	

事業活動と成果 (上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	修理を要する収蔵品数	件	4,945	4,945	5,273	5,273	
	実際の修理件数	件	10	10	10	15	
活動指標		件	10	4	10		
	年間修理資料数	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
成果指標		実績値	100.0	40.0	100.0		
		目標値					
投入コスト	事業費計			2,509	2,657	1,182	1,849
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他		450		455	450
		一般財源	2,059	2,657	727	1,399	
		所要人員 (正職員)	人工	0.25	0.00	0.30	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.30	0.50	0.50		
	人件費合計	千円	2,759	1,753	3,751		

進捗評価 (事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

博物館は桑名ブランドを展開していくうえで不可欠な「ほんもの」の作品を所蔵しており、それらを未来の子どもたちに残していくため展示室・収蔵庫の環境管理を行っていく。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1185】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 博物館特別展示事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	文化課
	項	05	社会教育費		
	目	04	博物館費	連絡先	0594-21-3171
	細目	001	ブランド推進事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名市民・観光客	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○全国各地の重要文化財を含む貴重な資料の調査・研究を行い、一定のテーマを設けて特別展示を開催する。 ・開館30周年記念特別展示：平成27年10月10日(土)～11月23日(日) 「大定信展」 ・特別展示：平成28年1月14日(木)～2月14日(日) 「珠玉の日本画」 ・ポスター・チラシ・図録の作成(資料写真撮影を含む) ・展示準備作業としてパネルやキャプションの作成 ・資料の借用及び返却業務、展示飾り込み・撤収作業などを実施 ・PR:市広報、新聞各社、テレビ等各社、市内公共施設・県内外の博物館・美術館へポスター掲示依頼	民間展示業者へ委託するという手法もあるが、現状よりコストが高くなるのが予想され現状としてはふさわしくないとと思われる。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
市民に普段は見ることのできない貴重な資料を関係機関等から借用し、展示公開することにより、ふるさとである桑名地域の理解を深めていただくとともに、観光客に対しても「桑名ブランド」のPRにつなげていく。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	市民数	人	142,510	142,544	142,544	142,544	
	特別展展示開催回数	回	1	1	2	2	
活動指標	特別展開催日数	日	38	26	67	63	
	特別展来館者数	人	目標値 実績値 1,500 2,429	1,000 953	3,000 3,146	3,000	
投入コスト	事業費計			4,710	4,075	4,928	6,463
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他		1,824	1,376	455	6,463
		一般財源		2,886	2,699	4,473	0
	所要人員(正職員)		人工	0.50	0.00	0.30	
所要人員(嘱託再任用)		人工	0.80	0.60	0.60		
人件費合計		千円	6,197	2,104	4,090		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

博物館は桑名ブランドを展開していくうえで不可欠な重要文化財を含む「ほんもの」の文化財を市内で唯一公開出来る施設であることから、積極的に活用を図り、広報展開の工夫により市民や桑名への来訪者へPRを行っていく。